

## 後期基本計画における主な実施想定事業（案）及び実施中の事業

★：新規事業

重点的 施策	事業名称（案）	事業内容	喫緊性	事業費	優先度
中学校給食の完全実施	★中学校給食センター建設事業	亀山中学校・中部中学校における全員喫食制給食実施の早期実現を進めるため、両校への提供を軸とした給食センター方式の給食調理施設を建設するものです。	令和3年3月に教育委員会が示した「学校給食提供に関する今後の方向性」及び市議会からの「センター方式による完全給食の早期実現を求める決議」の内容を勘案し、速やかに事業を実施していくものと考えています。	79,400万円 (国補助 15%)  運営費用 【年間6,000万円】	最優先
	(デリバリー給食)	亀山中学校・中部中学校において実施しているデリバリー給食。		18,400万円 (4年間分) 【年間 4,600万円】	
学校施設の計画的な整備・改修	★特別教室空調機整備事業	特に夏季の学校授業において、学校環境衛生基準に基づく環境（温度基準）の担保が困難な状況下の中、児童・生徒の健康状態への懸念がなされることから、空調設備未設置の特別教室61教室へ設置するものです。	学校衛生基準に対する基準面への担保、また健康状態への支障を懸念すると、早期に事業を実施することが望ましいと考えています。	13,790万円 (国補助 15%)	最優先
	★学校長寿命化計画策定事業	法的耐用年数を迎えた、又は間近に控えた学校施設について、今後も継続的に使用・活用できるのか、また出来ない場合はどの時期にどの程度の改修が必要であるのか現況調査を行い、その結果を基に改修等を含めた計画を策定するものです。	法的耐用年数を迎える施設の増加が見込まれることから、耐用年数を延伸することを前提とした予防保全型管理を行うため、早急を実施する必要があると考えています。	890万円	短期
	★トイレ洋式化改修事業	今日の一般住宅ではほとんどの家庭に洋式トイレが設置されており、特に小学校では和式トイレの使用に不慣れた児童が多く見受けられ、休憩時間の確保への支障、児童・生徒の健康状態への懸念がなされることから、現在設置の和便器を洋式化するものです。	左記のとおり、児童・生徒の健康状態への影響等が懸念されますが、一方では全国や県内各市町のトイレの洋式化率と比較すると、市内各校とも洋便器を相当数有していると考えられ、徐々に事業を実施するものと考えています。	4,630万円 (国補助 15%)	中期
	★亀山中学校体育館改修事業	建設後50年を経過し、建物土台部分の劣化に伴う床材の目違い及び天井の雨漏り等施設管理として支障をきたす部分があるため、改築を行うものです。	左記の状況を勘案し、建て替えの検討を行う時期に達していると考えています。	48,000万円 (国補助 15%)	長寿命化計画策定後
	★亀山東小学校体育館改修事業	建設後47年を経過し、建物の全体的な老朽化及び天井の雨漏り等施設管理として支障をきたす部分があるため、改築を行うものです。	左記の状況を勘案し、建て替えの検討を行う時期に達していると考えています。	39,040万円 (国補助率 15%)	長寿命化計画策定後
働き方改革の推進	★校務支援システム事業	児童生徒と向き合う時間の確保等のために、専科教員、スクール・サポート・スタッフ及び部活動支援員等の配置拡大を進めるとともにICTによる校務の効率化を図るためのものです。	業務の効率化と仕事量の軽減の両面が課題となっており、早期の解決が必要と考えています。	4,800万円 (4年間分) 【年間 1,200万円】 交付金あり	最優先 (R7までに)
情報社会で活躍できる力の育成	★情報教育推進事業	ICT機器を活用し、児童生徒の主体的な学びを推進し、一人ひとりの個性や能力を發揮することができる、21世紀にふさわしい学びの実現を図る必要があるため、指導者用の環境整備と機器の更新を行うものです。	令和の日本型学校教育を実現するために、GIGAスクール構想によって整備されるICT環境の活用のための情報機器の整備が必要と考えています。	31,600万円	最優先 (新規継続)
特別支援教育の推進	個の学び支援事業	小中学校の特別支援学級における介助員及び看護師の配置及び通常学級への生活支援員及び学習生活相談員の配置を行うものです。	実施中	37,080万円 (4年間分) 【9,270万円/年】	継続
確かな学力の向上の育成	少人数教育推進事業	少人数によるきめ細かな指導に取り組むための少人数教育推進教員の配置を行うものです。	実施中	10,680万円 (4年間分) 【年間 2,670万円】 (国補助年間 99万円)	継続
読書活動・文化芸術活動の推進	学校図書館支援事業	「学校司書」「学校図書館活用アドバイザー」を全小中学校に配置し、図書館機能を生かした教育活動を推進するものです。	実施中	5,440万円 (4年間分) 【年間 1,360万円】	継続

後期基本計画における主な実施想定事業（案）及び実施中の事業

★：新規事業

重点的 施策	事業名称（案）	事業内容	喫緊性	事業費	優先度
グローバルに活躍できる力の育成	英語教育推進事業	5人の外国人指導助手の巡回指導による、児童生徒の国際感覚を養い英語に親しませるとともに、幅広いコミュニケーション能力を育成するためのものです。加えて、「英語デイキャンプ」による英語に親しむ場の設定や「英語チャレンジ」等による客観的な評価を実施するためのものです。	実施中	12,680万円 (4年間分) 【3,170万円/年】	継続
不登校児童生徒への支援	適応指導教室事業	市内小中学校における不登校児童生徒への学習・生活指導や相談・支援及び保護者に対する相談・支援及び保護者に対する相談・支援に取り組むものです。	実施中	4,000万円 (4年間分) 【1,000万円/年】	継続
読書活動の推進	図書館整備事業	亀山駅前周辺事業との緊密な連携のもと、図書館の整備について計画的に推進を図るものです。	実施中	118,680万円 (R4整備工事のみ) (国補助39,410万円) 【全事業費】 260,690万円 (国補助119,410万円)	継続

(亀山市教育委員会作成資料)